

平成19年度
町会・自治会交流会の記録

平成20年3月

世田谷区町会総連合会

1 町会・自治会の活性化のために

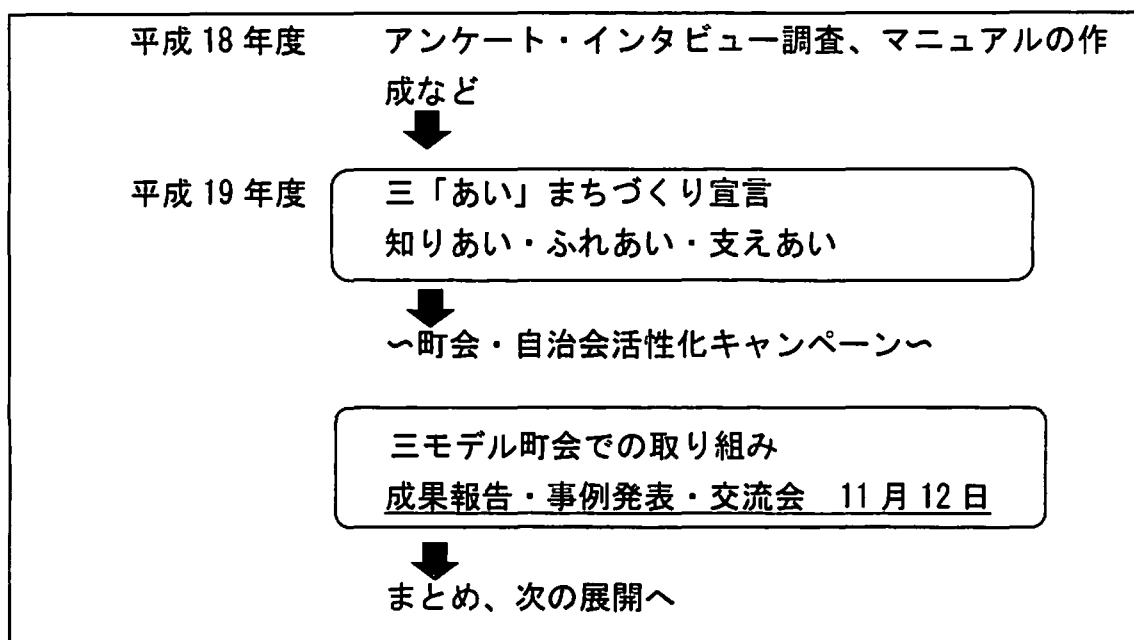
世田谷区町会総連合会では、世田谷区と協力して、平成18年度から町会・自治会の活性化に取り組んでいます。

平成19年の総会では、「会員世帯加入促進に向けての宣言（3「あい」まちづくり宣言）」を採択しました。この宣言にもとづいて、町会・自治会による活性化キャンペーン・加入促進活動を展開しています。

具体的には、3つのモデル町会で、「世田谷区町会・自治会活性化マニュアル（平成19年4月発行）」に例示されるような工夫を凝らした活動に取り組みました。

平成19年11月12日に、活動の成果や特色ある事例を発表し、町会・自治会相互の情報交換を行って、更なる取組みを確認する場として、200人交流会を実施しました。この冊子は、交流会の様子をまとめたものです。

<これまでの流れ>



2 町会・自治会交流会の概要

日時：平成19年11月12日 午後1時～3時30分

会場：北沢タウンホール（ホール）

内容：午後1時 開会

挨拶（倉本会長、森下世田谷区副区長）

来賓紹介、区職員紹介

<第1部 活動の発表>

- ・経過報告
- ・モデル町会の発表（桜上水一丁目町会、玉堤町会、粕谷会）
- ・災害要援護者支援協定締結町会の発表（北沢2丁目協和会）
- ・活動発表へのコメント（石塚計画デザイン事務所・石塚氏）

<第2部 町会・自治会交流会>

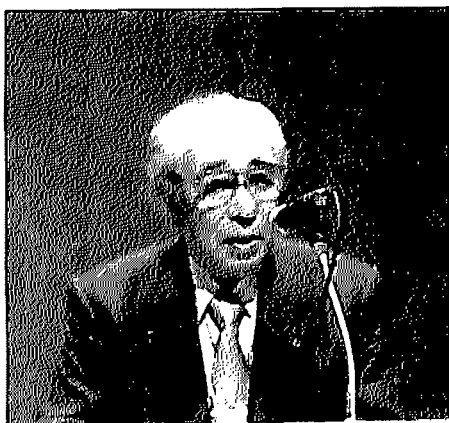
- ・町会・自治会活性化について意見交換

《テーマ》・・・「町会活動 つぎの一步」

午後3時30分 閉会

3 開会、あいさつ

倉本会長あいさつ



本日は、本年度の町会総連合会の最重点課題として、区と協働で取り組んで参りました町会・自治会活性化キャンペーンのまとめとして、交流会を開催したわけでございます。

町会・自治会といいますと、地域でいろいろな活動をしています。世田谷区も広く、活動の内容もそれぞれ特色ある活動を皆さん方をお願いしています。総じて行っておりますのは、環境の整備、防災、防犯の活動、青少年の健全育成などであり、また最近では、特に高齢者の見守り、介護なども、重要な町会の仕事のひとつになってきています。

これらの活動を円滑に進めるためには、皆さん方がいろいろな事業を行う中で、それぞれが顔なじみで、安全で安心して生活できる地域まちづくりが必要であろうかと思えます。

こんなことを考えますと、町会・自治会の役割は、ますます多いのではなかろうかと思えます。このようなことから、昨年度より始めたのが、町会・自治会の活性化のキャンペーンです。このキャンペーンでは三つの合い言葉をテーマとしています。

すなわち、知りあい、ふれあい、支えあい、です。この三つの「あい」をテーマに、今年の総会で「まちづくり宣言」を行いました。それに先立ち、区よりもいろいろご助力いただいて、みなさんよりアンケートを頂戴したり、昨年暮れの勉強会でプレ宣言の案を作成し、新年会にはそのプレ宣言をし、それを受けて、6月の総会で正式の宣言をいたしました。

そして、具体的な動きとして、まず三つのモデル町会を決めさせていただきます。本日の交流会は、その発表、締めくくりとして開催

したわけでございます。

本日の交流会は二部構成で、まず第一部では、三つのモデル町会及び災害要援護者支援協定締結町会の成果、経過報告を発表していただきます。そして、第二部では、「町会・自治会のつぎの一步」というテーマで、話し合いをしたいと思っております。

この交流会で、一步でも新たな方向性が見いだせればと期待しております。本日の企画が、日頃、町会・自治会でいろいろご苦勞なさっておられる皆さん方の何らかの手助けになることを心より祈念いたしまして、この交流会の開会に際しての挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

森下世田谷区副区長あいさつ

倉本会長を始め、町会・自治会のみなさま方には、日頃から、地域の課題の解決や地域の皆様の親睦を深めるために、地域住民の方々の先頭に立っていろいろご尽力いただいております、深く敬意を表する次第でございます。

また、平素から区政に対しては多大なご協力を賜りまして、この場を借りて厚く御礼を申し上げたいと思います。

さて、町会総連合会の皆様方の、町会・自治会の活性化キャンペーンも2年目ということでございます。本日このように多数の参加を得まして交流会が開催されますことは、まことに意義深いものとお喜び申し上げます。

私ども世田谷区としまして、熊本区長からの指示がございまして、町会総連合会の皆様方とともに、活性化キャンペーンの支援に取り組んでいるところでございます。この間、皆様方のご協力を得まして調査を実施いたしまして、その結果をもとに町会自治会活性化マニュアルというものを作成いたしました。ぜひご活用いただけたらと思っております。



おります。

また今年度は三つの町会に、まちづくりの専門家を派遣するなど、その活動のお手伝いをして参ったところでございます。

区としましては、引き続きこのようなご支援を行って参りますので、町会・自治会の皆様方におかれましても、本日の交流会を新たな発展の機会にされまして、活動が一層発展されますことをご期待申し上げるところでございます。

結びに、世田谷区町会総連合会のますますのご発展と、ご出席の皆様方のますますのご健勝をご祈念申し上げまして、私からのご挨拶とさせていただきます。本日はどうもおめでとうございました。

4 モデル町会・自治会の報告

■桜上水一丁目町会 堀池会長

私ども桜上水一丁目町会は、環状7号と8号の間、京王線と小田急線の間位置する町会です。町会には商店は数件しかなく、住宅街です。

今年度から町会ニュース「しらかし」が長年の念願かなって発刊できるようになりました。この名前の由来は、町内のシンボルの樹木です。

町会として、防犯・防災・環境などの活動を更に推進してゆくことを決め、防犯パトロールの強化、防災倉庫の設置、防災資機材の拡充、町内美化運動の推進、ごみ収集所の総点検と改善などを実施してきました。このような活動を進めるなかで、大きな課題である町会の財政を見直すことに取り組みました。

町会組織の改定（54班を7ブロックに組織化）、町会外にての活動に対する活動費の見直し（単価を下げて支払い対象を拡大）、ブロック部長や町会ニュース編集委員への特別手当支給、防犯パトロール参加者への活動費支給などを実施することにしました。

同時に複雑化が進む家庭状況もあり会員のご理解を得て慶弔見舞金や敬老祝い金を廃止することにしました。

当町会の会員は、一戸建ての世帯は殆ど会員ですが、アパートの住人は勧誘してもなかなか会員になってもらえない。そこで、先程申し上げましたような財政状況や受益者の観点からアパートや駐車場の経営者・管理会社から町会に対しご協力を得られないか検討を始めました。

町会内にあるアパート・駐車場の経営者・管理会社の調査を3カ月かけて実施し、ご協力の趣意書を送付しました。

その結果、町内9割、町外8割のご賛同を得ました。初年度ご協力いただいた総金額は町会総収入金の14.8%を占めることになりました。次年度は更に増える状況にあります。



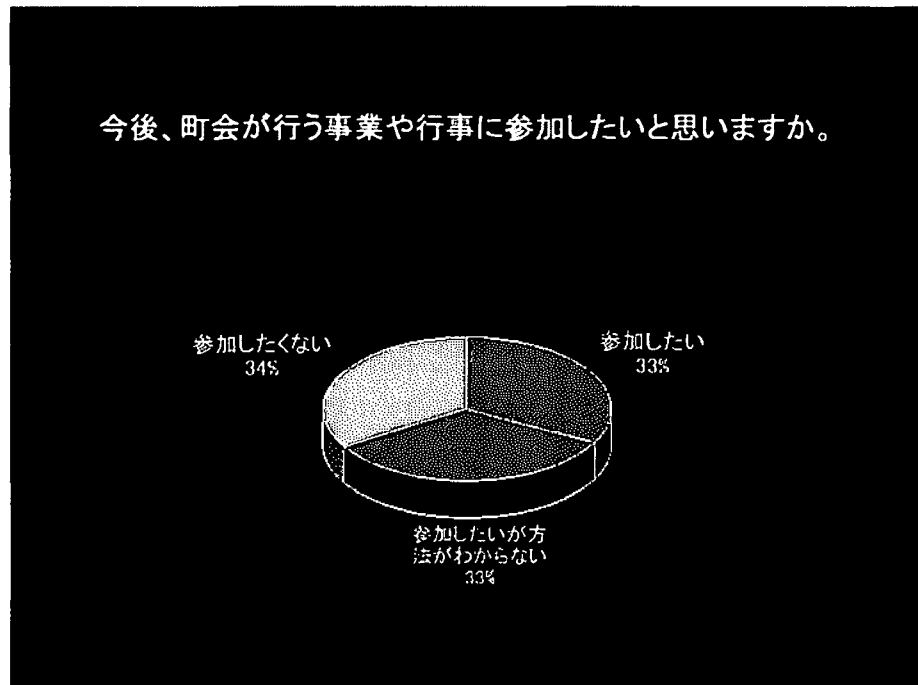
今後にご協力いただいたアパート・駐車場の経営者・管理会社に対し町会の状況をご報告し、更なるご理解、ご協力をいただくよう努めていきたいと考えています。

なお、先般町会設立60年を経て初めて会員に対しアンケートを実施しました。回答率70%でした。

防犯・防災に対して強い関心がある反面、町会の活動に参加したいがその方法がわからない方が多かった点、少数派の意見をどう汲み上げるか、今後の課題です。

アンケートの意見にもあったので、防犯パトロールを自宅周辺だけでも実施してくれる方の募集も始めました。

以上のような取り組みが、地域の活性化につながるものと思います。



アンケート結果の一部

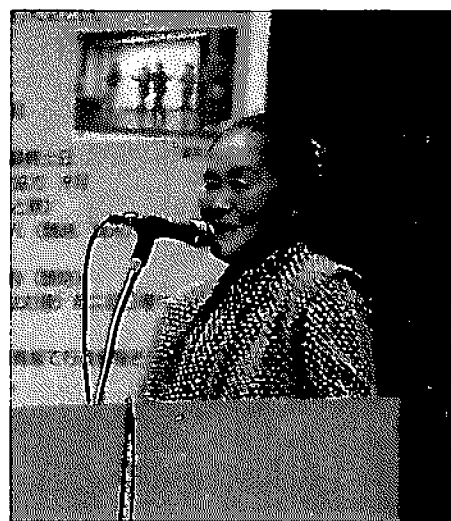
■玉堤町会 齋藤会長



同じ世田谷区でも、地域によって活動、運営が違うと思います。玉堤町会は、交通の便は不便なところがありました。バスを通してもらったおかげで、地域全体に活性化が生まれ、町会活動がスムーズにできるようになりました。

玉堤町会では地区会館が活動の核になっています。会館があるのとないのとでは全然違います。本日は「支え合いの会」の活動をしている婦人福祉部長から活動内容を説明します。

内田敏子婦人福祉部長



支え合いの会は、区から認められて10年が経ちます。当初は15万円の補助金があり、1年目にテレビ、体操のためのマットを購入しました。

その後補助金がなくなりましたが、役員会で支え合いの会を婦人福祉部で担い、町会費をあてることに決めていただきました。

活動日は第一日曜日「ふれあい広場」として30人ほどを招待し、昼食、体操、歌を歌い、お話し合い、おしるこなどを食べて解散、という活動をしています。地域のご高齢の方もバスが走るようになったので、喜んで出席してくれます。

昼食を作る人、手芸部の人などが10時から4時半くらいまで活動しています。

「ふれあい広場」の中で、手芸部の人などが、9月15日の敬老会に手作り品をプレゼントします。130人くらいいらっしゃいますが、皆さん、喜んでいただいています。

活動を始めて10年が経ち、支える人と支えられる人のバランスが悪くなったので、それぞれの募集をお願いするパンフレットを作成しました。毎月お誘いするときに、パンフレットをポストに入れようと考えています。

ピンクのエプロンがシンボルです。お誘い、お願いごと、具合が悪い人があるとどこでも飛んでいきます。

青少年部の若い人も参加、屋根の落ち葉を取り除く、風呂の修理など、支える方も楽しい、支えられる方も楽しい活動です。

玉堤町会

町会の活動にいっしょに参加しませんか？

玉堤町会は、創設からもうすぐ50年を迎えます。町会としてはまだ新しい町です。住みよい町にするために皆さんのご協力をお待ちしております。

盆踊り大会 8月下旬
町会主催の盆踊り大会を開催しています。地域の住民や多くの方のご協力をお願いしています。毎年8月後半の土曜日に開催しています。ご参加ください。

町会が行っている主な活動
町会では下記のような様々な活動を行っています。これらの活動には皆様の協力が不可欠です。是非活動にご参加ください。もしお近くにお住みの方で町会加入の方がいらっしゃいましたら、加入していただければ幸いです。

新年会 1月
盆会 8月
ゴミゼロデー 8月
日帰り旅行 (春)
盆踊り大会 8月後半土曜
五川神社祭礼への協力 9月
交通安全運動 (春と秋)
防犯防衛パトロール (昼夜、週末)
色紙運動 (夏秋)
街づくり推進委員会 (昼夜)
町会教室 (小学生対象) 月二回日曜午後
防災交流会

町会加入費用は、町会費で行政機関との協力を随時ご連絡しています。

活動協力申し込み用紙

お申し込みは各関係者へ (関係の各自治会へ差し送る) 郵送でも可です。

1 玉堤町会地域支え合いの会
(1) 支えるスタッフを募集しています
(2) 各府県内の参加を募集しています
協力しあひまわり隊、運動部、子供、敬老会など
ごでいっしょに一日楽しく過ごします

2 防犯防衛パトロール

氏名 _____
住所 _____
電話番号 _____

玉堤町会地域支え合いの会活動 (ピンクのエプロン)

- ・ 各府県内巡視 (各府のしんご) 日曜第一日曜日
- ・ つどいの館、玉堤ホームなどへのボランティア
- ・ 防犯・町会行事への協力

このパンフレットは平成18年反町地区地域の活力再生事業の成果を収めて作成しました。

玉堤町会で作成したチラシ

■ 粕谷会 本橋会長代行



粕谷会は世田谷の環状8号線の西側、京王線から南、八幡山のあたりに位置しています。加入している世帯数は、粕谷一〜四丁目全5,000世帯で、町会に加入していない人もたくさんいます。この方々にどうやって町会に入っていたか、8月からその方策について4回ほど打ち合わせを行いました。そこで、ふれあいカレンダーを作成し、入会者を増やしていく取り組みをしていくことにしました。

粕谷はもともと戸建てが多いエリアですが、最近、分譲マンションが増えています。150、200世帯といったマンションもあります。これらのマンションに建設当初から建設業者や販売会社の方をお願いにあがりますが、入居後、管理組合になると連絡が取れなくなるという状況もあります。

そこで、ふれあいカレンダーをつくり、町会に入っていたかどうかということになりました。

粕谷会には、八幡山側に世帯数は少ないけれども、戸建ての多いブロックがあり、そこでは防災活動に積極的に集まり、活発な活動をしています。このような活動を参考にしながら、粕谷全体で、町会に入っていない人にもできるだけ参加してもらおうと、取り組みを進めています。

粕谷会の大きな特徴として、徳富蘆花の芦花公園が大きい位置を占めていることがあります。ここでは、犬を放し飼いできるわんわん広場や花の丘など、交流の場ができています。このような場所で活動している、町会を取り巻くNPO法人などどのように交流していくかがこれからの課題です。また、子どもを含むPTAの方に町会に参加してもらい、町会の活性化につなげたいと思います。そのためにも、まずはふれあいカレンダーを活用すれば、もっと活性化し、入会してもらえるのではないかと考えています。

粕谷ふれあいカレンダー




<p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> 新年親睦あわせ会 どんど焼き(粕谷八幡) <p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> 粕谷区民センター 子どもまつり 花の丘フェスタ /ももつき大会 <p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> 花の丘フェスタ /原の花まつり <p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> 花の丘フェスタ /交通安全週間(仮祭り) 交通安全週間(仮祭り) <p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域防災訓練 花の丘フェスタ /こいのぼり大会 ゴミゼロデー 運動会 <p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> 花の丘フェスタ /ポピーまつり <p>7月</p> <ul style="list-style-type: none"> 花の丘フェスタ /七夕まつり 防災防災訓練 (芦花中) 	<p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災訓練 (D部ポンプ) 粕谷区民センター 仮み会、盆踊り、子どもまつり <p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災訓練 (D部ポンプ) 防災訓練(仮祭り) 交通安全週間(仮祭り) 花の丘フェスタ /ひまわりまつり、盆踊り <p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> 粕谷八幡神社のお祭り 花の丘フェスタ /焼きいも大会 <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災訓練(仮祭り) 粕谷区民センター文化祭 七五三祭り 東京ウォーキング 花の丘フェスタ /ハロウィーンコンテスト <p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> 年末大集い 花の丘フェスタ /クリスマスツリーコンテスト
--	--

※粕谷会 (商) 主催、共催、協力などしている活動です。
 ※芦花中主催の花の丘フェスタは第一日曜日です。
 ※毎月曜日に2回巡回パトロールを行っています。その日に月一回が曜日(仮祭り)パトロールを行っています。



粕谷会では「知り合い、ふれあい、支え合い」をテーマに、楽しく安心して住み続けられる地域づくりのために様々な取り組みを行っています。
 あなたに合ったいろいろな関わり方がみつかります。活動内容を知っていただき、あなたのできるところからお気軽に参加してみませんか。

**あなたの力で町が
変わります。町会
に加入しましょう。**

- <粕谷会の代表的な活動内容>
- ・同業種による行政諸機関、関係諸団体よりの生活関連情報の提供
 - ・町内の問題をほかるお祭りやイベントの開催
 - ・高齢者クラブの支援、寄附品贈呈 (75歳以上)
 - ・駐下校の見守り活動
 - ・ゴミゼロデー
 - ・防災避難訓練、災害時の避難所の確保
 - ・交通安全への取り組み
 - ・他の地域団体や区、警察、消防署などの行政との連携、災害時の連携・協力
 - ・社会福祉協議会や日赤、新しい羽根共同基金への協力
 - ・通信 (ミニコミ誌「わびみず」) 発行の協力
 - ・近隣町会との連携
 - ・資源のリサイクル活動
 - ・芦花わんクラブへの協力

切り取り線

町会加入申し込み用紙 (会費 180円/月) 町会へのご意見、ご要望などがありましたらご自由にお書きください。

<p>氏名: _____</p> <p>住所: 粕谷 丁目 番 号 _____ 520</p> <p>(マンション・アパート)</p> <p>電話: _____ ファクス: _____</p> <p style="font-size: small;">いただいた個人情報は町会の活動推進のために利用します</p>	
--	--

町会加入ご希望の方は、上記に記載の上、粕谷区民センター1階または、イベント時に設置する受付箱へ入れてください。申し込みいただいた方には折り返しご連絡いたします。郵送の場合: 白本俊昭(会長) 粕谷4-17-16 / 本橋潤平(本橋俊夫 会長代行) 粕谷1-12-28 まで
 この印刷物は平成19年度東京都地域の底力再生事業の助成を受けて作成しました。

■北沢二丁目協和会 富永会長

(災害要援護者支援協定締結町会)



町会長になって5年目ですが、会長になって気になったことは、高齢化社会を迎え、自分の町会にどのような高齢の方がどのくらいおられて、どういうご苦勞をされているかということでした。

北沢二丁目協和会は、下北沢北口駅前に接するエリアで、所帯は単身者を含め約900。昔から住宅地として開けており、最近商店街がどんどん侵食してきています。地域活動が定着していて、町会に加入されているのは、約8割と高率です。昔から町会に加入するという習慣が今でも生きています。

以前から75才以上の方には、敬老の日にお祝い品をさし上げていますが、今年を対象140名、ご夫婦の場合はひとつなので、110戸にさし上げました。

さて、災害時にこのお年寄りのことが心配です。核家族化が進み、お年寄り夫婦や一人暮らしで災害にあったらどうなるのでしょうか。

日ごろからどこにどういうお年寄りが生活しておられるのか、隣近所で承知していることが大切です。これには敬老の日のお祝い品プレゼントが役に立ちます。そうこうしているうちに行政から同主旨の提案があり、我が意を得たりと協定を結びました。

今日本では自己中心的な考えが横行しています。地域社会で大事なことは、人は本来ひとりでは生きられない、お互い助け合って生活していくことが本来の姿です。知りあい、ふれあい、支えあいの気持ちで挨拶をすることが、人間関係の第一歩です。知り合うことで理解が進み、信頼関係が築かれます。人のために何が出来か考えることを役員が率先してやりながら、人間が本来持っている助け合いの心が広がっていけばと願っています。

■活動発表へのコメント 石塚雅明氏

(石塚計画デザイン事務所 代表取締役)

みなさんのお話の中にもありましたように、地域のまちづくりというものが非常に大きなテーマになっている時代ではないでしょうか。

<住民の力によるまちづくり>

札幌でも、町内会が中心になって頑張らなければいけない、行政任せにもしておけない、ということで、NHKの「ご近所の底力」みたいな、いろいろな活動が始まっています。

その背景には、阪神淡路の大震災の教訓があったりしたのですが、例えば羽根木プレーパークのような子ども達のいきいきとした顔に出会えるのは、行政の力じゃなくて住民の力でできあがっています。住民の中からまちづくりを進めていきましょう、という動きを進めております。

<札幌のまちづくりセンター>

その動きの黒子になっているのが、札幌のまちづくりセンターです。世田谷でも出張所を「まちづくり出張所」という形に一部名前を変えて、全体でもまちづくりの支援センターとしての役割と強めていきましょうという取り組みをされているようですけれども、札幌もほぼ同じ時期に「まちづくりセンター」と名称を変更して、市民自治によるまちづくりを推進するための、地域のまちづくり活動の拠点としています。

札幌は180万人都市で、市内87カ所にありますから、およそ中学校区に1カ所、人口1万から3万人を対象としています。所長さん一人が常駐して、あと嘱託の方お二人という体制で、地域のまちづくりを支えていらっしゃいます。

<町会が抱える課題>

その背景として、町内会の加入率が下がってきていることがあります。世田谷と比べるとまだ7割もあるのかと言われそうですが、これでも札幌の地域の中では大変で、都心部ですと5割を切っているようなところもでてきております。

町内会も役員のなり手が不足している、高齢化が進んでいる、特定の人しか参加しない。活動に参加してくれる人もいないし、住民の関心が低い。活動内容も慣例化、別の言い方をするとマンネリ化している。全町内会長さんにアンケートを取った結果、こういうご意見でした。

<町会がこれから取り組みたい活動>

現在の活動と、今後力を入れて取り組みたい活動を比較しながらアンケートでお伺いしていますが、今はやっているけれども今後はさほど力をいれなくても、というのが、環境美化、交通安全、団体内交流。これらは今までやってきたベスト3なんですけれども、これよりももっと大切なのは、災害予防、子どもの見守り、保健福祉、犯罪防止、子育て、そして行政の計画への積極的な参加というものじゃないかということ、町内会でも考えてきているわけです。

それらの思いと、まちづくりセンターの所長さんの努力によって、まちづくりセンターができて以降、町内会を中心とした住民主体の地域まちづくり活動の事例はうなぎのぼりに増えてきています。例えばどんな活動があるのかというのを簡単にご紹介しましょう。

<住民160人が集まって地域課題を話し合い>

これは、地域ぐるみでまちの課題や解決方法を話し合うという取り組みです。今までは、町内会の皆さんは、町内会の役員さんを中心に、地域の福祉をどうする、あるいは防災をどうする、いろいろ悩まされていたと思います。しかし、固定したメンバーで、高齢化をしている中で、できることには限界がある、と半ばあきらめていた感じがありました。

まちづくりセンターの所長さんたちの働きかけによって、そういう問題は地域ぐるみで話して、地域ぐるみで解決する道を探ってみませんか、ということで、これは小学校の体育館を借りて、160人以上の住民の方が集まって、地域の課題を見つめ、解決策を探った取り組みです。

3回の会議でしたけれども、2回の会議が終わった時に、もうすでに、いくつかの活動が立ち上がりました。話し合いだけではなく、解決の取り組みが大切だという動きになりました。

<例1 ハーブの小径を愛する会>

ひとつは「ハーブの小径を愛する会」という取り組みですけれども、これは、川沿いに特色ある公園づくりということで、国の方がハーブを植えたんですね。ハーブというのは、名前は格好良いのですけれども、要は野草でありまして、ほったらかしにしていると、草ぼうぼうになってしまった。そのハーブの小径の公園は主に中学生が夜中にタバコをすって、翌日はシンナーの吸い跡でいっぱいになるという、そのような公園になったわけです。

そこで、町内会も大変心配して、ここの草刈りをしたいと言っていたんですけれども、面積が広大でとても手に余る。それをこの会議で発表したところ、こんなに百何十人も会議に集まるんだから、みんなに呼びかければいっぺんにできるんじゃないかということで、呼びかけたら200人集まって、あっという間に草刈りが終わってしまった。こんなことだったらハーブの小径を愛する会という会をつくって継続的にやろう、という動きが二回目の会議で立ち上がりました。

<例2 いしやま朝市>

この地域はお年寄りが多くなっているんですが、商店街がシャッター通りになってしまっている。スーパーマーケットはあるんですけれども、車で行かざるを得ない。お年寄りになると車も運転できない、ということで、買い物さえ不便になったという悩みが、この会議で出されました。

そこで「みんなでお年寄りの買い物をサポートするために朝市をやる」「でも大変じゃない?」「朝市ってイベントで1回やるだけではすまないよ、月に2回くらいやらないと役に立たない」「誰が一体そんなことをするんだ?」ということが会議で問題になりました。ところが、会議のいろいろなところから手が挙がって、「私は農家をやっているけれども、市場に出せない野菜を提供します」「私はパン屋をやっているけれども、朝早く、このためにパンを焼いて提供しましょう」と、協力者が百何十人の会議の中から、次から次に手を挙げて、あっという間に石山朝市という朝市が出来上がりました。

もう3年経ちますけれども、毎月第一、第三土曜日、100人以上の方が集まられる。そして、お年寄りはそのに来るのが楽しみで楽しみでしょうがない。それは買い物に来るんじゃなくて、日頃顔を合わせない人達と井戸端会議が朝市でできるということで集まっています。

<通信の発行>

こういう取り組みを、地域ぐるみで継続的に進めていくために、まちづくりセンターでは各センターで通信を発行して、配布しています。これを通じて、新しい参加者が生まれるという良い循環が生まれつつあります。

<地域のまちづくりを元気にする6つのポイント>

最後にまとめですけれども、地域のまちづくりを元気にするポイントということで6つ、事例から読み取れることをまとめてみました。

1. 義務じゃなく、やっている自分が楽しい
2. ひとり（町内会や自治会）だけで頑張らない
3. 地域の関心の高いテーマに取り組む
4. 多くの人と一緒に汗を流せる現場をもつ
5. 誰もが参加しやすい入り口をつくる
6. ねばり強く地域に広く伝える

大切なのは、義務じゃなく、やっている自分が楽しいということ。そして、ひとりで頑張ったり、町内会や自治会だけで頑張らない、いろいろな団体の方の力を合わせて取り組む。

そして、大切なのは、地域の関心の高いテーマに取り組むということです。先ほどお話したお年寄りの買い物の問題ですとか、荒れ果てた公園の管理の問題、そういうテーマにあわせて、多くの人と一緒に汗を流せる現場を持つということが大切なんじゃないでしょうか。

そして、そのためには参加しやすい入口をつくる、鎌をひとつ持って草刈りをしましょうとか、そういう参加しやすい入口をつくり、粘り強く地域に広く伝えていく取り組みが大切なんじゃないのかな、ということです。

5 交流会の様子と話し合いの記録

参加者は合計108人。AからLの12グループにわかれて議論をしました。



まとめ

全体12のグループから出た話をまとめると、いろいろな話が出てきたと思います。

今日は「町会活動次の一歩」ということですが、課題は本当にたくさんあるかと思っています。その課題に対して「できない」と言っている、なかなか進まない。課題を解決していくことは難しいことは理

解した上で、あえて次に一步を踏み出すという、そういうきっかけになることは何かを考えることが大事だろうと、話を聞いていて思いました。それぞれが、少しずつ工夫しながら遠回りかなと思いつつも、一歩ずつ、半歩ずつ、進んでいくことが大事かと思えます。

こういう交流会、非常に良かったという声も何人かから聴けました。このような機会を増やしていくこともこれから大事になっていくのではないかなと考えています。

その中で印象に残った、次の一步のヒントになりそうな話を、いくつか抽出してまとめと代えさせていただきます。

<加入促進はマンション建て替えのタイミングで>

- ・加入促進のためには、建て替え時のタイミング、マンションができたとき、建て替え時が大事。

<PRの方法>

- ・回覧板より掲示板が効果的。
- ・通信や会報は「読む」よりも「見て」もらえ。

<活動の場所が大切>

- ・活動場所が大事。

<交流の工夫>

- ・敬老の祝い金とあわせて子どもの絵で喜んでもらう。
- ・盆踊りで交流を。

<人材の活用>

- ・女性の活用。
- ・町会長のファンをつくる。
- ・自治会便りは引き継ぎ書として使える。

発行 世田谷区町会総連合会

〒154-0023 世田谷区若林4-31-9 ポライト第2ビル202号
電話・ファックス 03-5481-3456
